

◎：最も重要な項目、○：2番目に重要な項目

科目区分	科目名	配当セメスター	1. 倫理課題について多角的に分析し、対応できる能力を有する	2. 保健医療福祉チームにおいて、総合的に看護ケアをマネジメントする管理能力を有する	3. 看護職者及び関連する多職者の中で専門的立場から役割を発揮し、教育的能力を有する	4. 看護現象を科学的に分析・評価し、創造的な実践を開発するための基礎的研究能力を有する	5. 専門分野における最新の知見と技術を備え、根拠に基づいた高度な看護実践能力を有する	
共通科目	看護教育学	1			◎	○		
	看護管理・政策論	1		○		◎		
	看護理論	2			○	◎		
	看護研究Ⅰ(概論)	1				◎		
	看護研究Ⅱ(量的・質的研究)	2				◎	○	
	コンサルテーション論	2	○	◎				
	看護倫理	2	◎		○	○	○	
	生命倫理	1	◎			○		
	国際医療保健論	2		◎	○			
	国際言語文化論入門(英語分野)	2				○	◎	
	臨床看護病態生理学	1				◎	○	
	フィジカルアセスメント	1			○		◎	
	臨床看護薬理学	1		○	◎		◎	
	遺伝子診断と疾患の分子生物学	2				○	◎	
	保健医療福祉特論	1		○	◎			
	保健統計学	1				○	◎	
	看護情報科学特論	1				◎	○	
	行動理論	2		○	◎			
	基礎・機能看護学	生体防御・感染看護学特論Ⅰ	1					
		生体防御・感染看護学特論Ⅱ	1					
生体防御・感染看護学特論Ⅲ		2						
地域感染制御保健学特論		2						
感染看護管理学		2						
生体防御・感染看護学演習Ⅰ		2						
生体防御・感染看護学演習Ⅱ		3						
感染看護管理学臨床実習		2						
感染症患者の看護臨床実習Ⅰ		2						
感染症患者の看護臨床実習Ⅱ		3						
慢性看護学	慢性看護学特論Ⅰ(慢性病者の行動理解)	1		○			◎	
	慢性看護学特論Ⅱ(慢性病者の査定)	2			○		◎	
	慢性看護学特論Ⅲ(慢性病者への支援技術)	2			○		◎	
	慢性看護学特論Ⅳ(慢性病者に関連する制度や体制)	2	○				◎	
	慢性看護学特論Ⅴ(慢性病者に関連する治療・療養環境整備)	1	○				◎	
	慢性看護学特論Ⅱ演習(慢性病者の査定)	2			○		◎	
	慢性看護学特論Ⅲ演習(慢性病者への支援技術)	2			○		◎	
	慢性看護学実習Ⅰ(専門看護師の役割理解)	2			○		◎	
	慢性看護学実習Ⅱ(慢性期/外来)	1			○		◎	
	慢性看護学実習Ⅲ(急性増悪期・回復期・終末期/病棟)	1			○		◎	
がん看護学	慢性看護学実習Ⅳ(予防期/地域)	1			○		◎	
	がん看護学特論Ⅰ(腫瘍病態学)	1					◎	
	がん看護学特論Ⅱ(がん看護理論)	1				○	◎	
	がん看護学特論Ⅲ(がん看護援助論)	1		○			◎	
	がん看護学特論Ⅳ(がん薬物療法看護)	2	○				◎	
	がん看護学特論Ⅴ(がん薬物療法看護方法論)	2	○				◎	
	がん看護学特論Ⅵ(緩和ケア)	2	○				◎	
	がん看護学特論Ⅵ演習(緩和ケア演習)	2		○			◎	
	がん看護学実習Ⅰ(診断と治療)	2		○			◎	
	がん看護学実習Ⅱ(高度実践・役割)	3			○		◎	
老年看護学	がん看護学実習Ⅲ(緩和ケア)	3	○				◎	
	がん看護学実習Ⅳ(在宅緩和ケア)	3		○			◎	
	老年看護学特論Ⅰ(老年看護学の基礎)	1		○			◎	
	老年看護学特論Ⅱ(アセスメント・健康生活評価)	1		○			◎	
	老年看護学特論Ⅲ(老年病態学)	1		○			◎	
	老年看護学特論Ⅳ(看護介入方法)	2		○			◎	
	老年看護学特論Ⅴ(保健医療福祉政策・サポートシステム)	2		○			◎	
	老年看護学演習Ⅰ(老年急性期看護)	2		○			◎	
	老年看護学演習Ⅱ(認知症高齢者看護)	2		○			◎	
	老年看護学実習Ⅰ(老年急性期高度実践看護・役割)	3		○			◎	
在宅看護学	老年看護学実習Ⅱ(認知症高齢者高度実践看護・役割)	3		○			◎	
	在宅看護学特論Ⅰ(保健医療福祉制度とケアマネジメント)	1		◎	○			
	在宅看護学特論Ⅱ(在宅看護アセスメント)	1		◎				
	在宅看護学特論Ⅲ(在宅看護援助方法)	1		○				
	在宅看護学特論Ⅳ(医療的ケア・終末期ケア)	2		◎				
	在宅看護学特論Ⅴ(訪問看護ステーション等の管理・運営)	2		◎	○			
	在宅看護学演習Ⅰ(医療的ケアに関する看護)	1・2		○			◎	
	在宅看護学演習Ⅱ(終末期ケアに関する看護)	1・2		○			◎	
	在宅看護学実習Ⅰ(GS院支援・調整と在宅チーム医療)	2			○		◎	
	在宅看護学実習Ⅱ(専門看護師の機能と役割①)	3			○		◎	
精神看護学	在宅看護学実習Ⅲ(専門看護師の機能と役割②)	3			○		◎	
	在宅看護学実習Ⅳ(訪問看護ステーション等の開設・管理・運営)	3			○		◎	
	精神看護学特論Ⅰ(歴史・法制度)	1		◎	○			
	精神看護学特論Ⅱ(精神看護アセスメント)	1		◎	○			
	精神看護学特論Ⅲ(診断と治療)	2		◎	○			
	精神看護学特論Ⅳ(精神看護理論)	1		○				
	精神看護学特論Ⅴ(援助方法)	2		◎			○	
	精神看護学特論Ⅵ(リエゾン精神看護)	2		◎	○			
	精神看護学特論Ⅶ(児童・思春期精神看護)	2		◎			○	
	精神看護学特論Ⅷ(慢性期精神看護)	2		◎			○	
研究科目	精神看護学演習(治療技法)	2		◎			◎	
	精神看護学実習Ⅰ(診断と治療)	2		○			◎	
	精神看護学実習Ⅱ(役割機能とコーディネーション)	3			○		◎	
	精神看護学実習Ⅲ(直接ケア)	3		○			◎	
	精神看護学実習Ⅳ(リエゾン直接ケア)	3		○			◎	
	精神看護学実習Ⅴ(児童・思春期精神看護)	3		○			◎	
	精神看護学実習Ⅵ(慢性期精神看護)	3		○			◎	
	課題研究(生体防御・感染制御学)	3・4				◎	○	
	課題研究(慢性看護学)	3・4				◎	○	
	課題研究(がん看護学)	3・4				◎	○	
課題研究(老年看護学)	3・4		○		◎			
課題研究(在宅看護学)	3・4				◎	○		
課題研究(精神看護学)	3・4			○	◎			